

白布ヶ丘だより

5月

…学校と家庭・地域の架け橋……

発行 栃木県立真岡高等学校

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地 1
TEL 0285-82-3413 FAX 0285-82-2913

創立記念式・講演会 (蓬田 勝美 氏)

創立120年目を迎える本校の創立記念式と記念講演会を4月19日(金)に実施しました。

軽部幸治校長から、明治33年、西暦1900年に、「栃木県第三中学校」として開校したことや、建築に要した経費約1万円、現在の価値で2億円程度のうち、半分に相当する5千円、現在の1億円程度が地域の人々から栃木県に寄付されたことなど、本校が地域の人たちの教育に対する熱い要望により設置されたこと、設置に当たって地域の人たちの具体的な努力があったことが紹介されました。また、現在の校舎が新築された際に、「記念館」(平成10年国指定の「有形文化財」)として現在の場所に移された旧校舎本館の平成27年度の耐震改修工事では、大塚実氏((株)大塚商会の創業者)に特段の御支援をいただいたこと、平成28年度の校庭の大改修工事(サッカー場全面と野球場の外野部分の人工芝化、陸上のトラックの高速ウレタン舗装)も大塚実氏からの全額寄付によるものであること、さらに、野澤一郎氏((株)バコーポレーション創業者)の意志による「野澤一郎育英会」の創設とその功績にふれ、氏が残された「百鍊鉄」(何度も何度も叩かれて鍛えられた鉄、その鉄で作られた刀は兜でさえ断ち割る)の言葉を紹介され、「生徒諸君にはその意味するところを、十分に自分の中に取り込んでほしい」と述べられました。

続いて、「真高の『絆』」について、「真高は、『生徒諸君の未来と可能性を信じて常に諸君と向き合おうとする先生』と『真高プライドをもって主体的に励む諸君たち』という縦の糸と、ともに勉学、部活動等に励む生徒同士という横の糸で、見事に成り立っている。縦糸をさらに伸ばすと、本校の偉大な大先輩諸氏に繋がっており、OBとして常に支援して下さる同窓会の先輩には、常に温かい励ましと御支援をいただいている。創立120周年にあたり、さまざまな御寄付いただけるとの方向で、話も進んでいる。これは、他校には例のない素晴らしい縦と横の繋がりである。現役の高校生諸君には、縦の糸を下へと伸ばし、今後永く後輩と繋がってほしい。縦と横の真高生の絆を強めることは、自己の立ち位置を再確認し、自己を成長させることと、自己有用感を成就することにも通じている。縁があって、この真岡高校に入学してきた生徒諸君には、創立記念日の今日、学校との『絆』について、改めて考えてほしい。この真高で何を学び、どんなふうに成長して卒業していくのか、『絆』を大切にして、諸君それぞれが、

どんな見事な布に自分を織り上げていくのか、どんな人生を作っていくのか、期待していると述べられました。



記念式の後、本校同窓生の蓬田勝美氏より「出会い」と題しての講演がありました。蓬田氏は軽部校長先生、同窓会副会長の篠崎勝美氏と同級生で、昭和55年3月に本校を卒業し、中央大学法学部法律学科に学びました。司法試験合格後は、第一東京弁護士会に弁護士登録された後、平成7年に栃木県弁護士会に移られ、蓬田勝美弁護士事務所を開業されました。市井の県民、市民を支えてくださる一方で、その間、栃木県弁護士会監事、副会長を経て、平成24年度は栃木県弁護士会会長、平成25年度は栃木県弁護士会常議員会議長の要職もお務めになりました。現在も宇都宮家庭裁判所家事調停員や栃木県公安委員会委員等、数え切れないほどの大役をお務めになっています。

講演は、「出会い」という演題で、高校、大学や弁護士として働きはじめた頃に関わった人との「出会い」がいかに重要だったかをお話しいただきました。「出会い」は自分から求めなければ得られない、「出会い」を大切にすることで自分の力量が高まると述べられました。また、将来弁護士を目指す生徒に、弁護士の仕事も御紹介いただきました。最後に「友との出会い」を大切に、切磋琢磨しながら頑張りたいというメッセージをいただきました。

P T A 総会開催

4月23日(火)に授業公開と組み合わせてPTA総会が開催されました。

平成30年度の行事と決算の報告後、平成31年度の事業計画・予算書などが承認されました。役員改選では選考委員会から原案が提示され、樋口貴則副会長が新会長として承認されました。

新執行部は以下の方々です。(敬称略)
 よろしくお願いたします。

	氏 名	支 部 名
会 長	樋口 貴則	新任 真 岡
副会長	川口 真一郎	再任 真 岡
〃	笠原 正美	新任 真 岡
〃	國井 功	新任 市 貝
〃	梅野 聡	新任 益 子
〃	鈴木 正行	新任 真 岡
監 事	小堀 真洋	再任 茂 木
〃	武田 健一	新任 大 内
〃	小林 陽一	新任 芳 賀
書 記	山崎 修二	新任 真岡東
会 計	入江 一守	再任 真 岡

※今年度の出席率は約44%(昨年度46%)
 でした。進路指導部からの連絡、本校の働き方
 改革、創立120周年記念式典等についての説明も
 ありました。

部活動加入状況 一文武両道を目指して

4月10日(水)、1年生対象に各部がそれぞれの
 趣向を凝らしたPRを行う部活動説明会があり
 ました。4月11日(木)放課後の部活動加入集
 会で届出が出され、部活動加入調査が行われま
 した。今年度の加入率は下の表の通りです。

部活動加入率(%)

	1年	2年	3年	全体
運動部	61.5	58.8	50.5	57.0
文化部	25.5	24.6	24.7	25.0
合 計	87.0	83.4	75.3	81.9

今年度の加入率は全体で81.9%(昨年84.9%)
 であり、昨年よりもやや減少していますが、全
 体としては8割を超え、高い加入率となってい
 ます。

運動部で部員数が最多となったのはサッカー
 部で120名、続いてバドミントン部が36名、野球
 部が31名、バスケットボール部が25名、弓道部
 が22名となりました。文化部は、吹奏楽部が最
 多で34名、続いて数学研究部が24名、クイズ部
 が14名、天文部が11名です。

壮行会を実施

サッカー・少林寺拳法の関東大会出場



◀ 県総体で優勝したサッカー部 ▶

令和元年度栃木県高等学校総合体育大会の各
 競技が行われ、さまざまな競技での本校生の活

躍が報告されています。サッカー部は決勝で佐
 野日大を1-0で破り、3年ぶり13回目の優勝
 を果たし、関東大会に出場を決めました。少林
 寺拳法では、佐藤陽太君(2年)が単独演武の
 部で優勝し、関東大会出場と全国大会出場を決
 めました。5月27日(月)の昼休みに放送で壮
 行会が行われ、関東大会の出場者の激励を行いま
 した。

【サッカー部】

◎令和元年度関東高等学校サッカー大会
 期 日 5月31日(金)～ 6月3日(月)
 会 場 茨城県鹿嶋市・カシマサッカースタジアムほか

【少林寺拳法】

◎令和元年度関東高等学校少林寺拳法大会
 期 日 6月1日(土)～ 6月2日(日)
 会 場 東京都足立区・東京武道館

5月29日現在、空手道部、陸上競技部の関東
 大会出場も決定しています(次号で紹介します)。
 応援よろしくお願いたします。真高健児の雄々し
 さが、全県下に示されることを期待しています。

5月・6月の行事予定

< 5月 >

27日(月) 教育実習開始(～6/7、～6/14)
 28日(火) 中間テスト(～30日)
 30日(木) 春季生徒会リーダー研修会
 校内心肺蘇生法研修会(職員・生徒)
 31日(金) 生徒会立会演説会・選挙 学習実態調査
 進研マーク模試(3年)
 第2回PTA理事会

< 6月 >

1日(土) サタデーセミナー(1, 2年)
 進研マーク模試(3年) 土曜開放
 2日(日) 英検
 3日(月) 海外研修オリエンテーション①
 4日(火) 創立120周年記念第58回校内体育大会
 腎臓検診(再回収)
 教育相談アンケート
 5日(水) 内科検診(3年) 平日課外
 ライトダウンデー
 6日(木) 第2回校内模試(3年～7日)
 第1回学力テスト(1・2年)
 7日(金) 実習生による進学座談会
 栃木県高P連総会
 8日(土) 土曜開放 夢ナビライブ
 10日(月) 短縮45分授業
 試験後面接期間(～6/21)
 11日(火) 短縮45分授業
 12日(水) 内科検診(2年)
 13日(木) 第2回進路希望調査
 14日(金) 進学資料読書会(LHR)
 15日(土) 県民の日 土曜開放
 17日(月) 海外研修オリエンテーション②
 19日(水) 内科検診(1年)
 20日(木) ライトダウンデー(夏至)
 21日(金) 進学講演会(3年)
 22日(土) 土曜開放
 23日(日) 創立120周年記念第54回真高吹奏楽部定期
 演奏会(於 真岡市民会館)
 28日(金) 生徒総会 進研模試(3年)
 性に関する講演会(1・2年)
 29日(土) 土曜開放 進研模試(3年)
 進研学力(1・2年)
 30日(日) 同窓会総会(於 フォーシーズン静岡)